

「話し合いの場」

話し合いの内容

これまでの話し合いで明らかになった六郷地域の子どもに関する「課題の本質」に対して、行政だけではできない、私たち地域で子どもたちのために出来ることを「①住民が SOS をだしやすい、発見しやすいしくみ」「②地域活動に参加しやすいしくみ」「③まちに関心・愛着をもってもらうしくみ」という3つ視点で話し合いをしてきました。

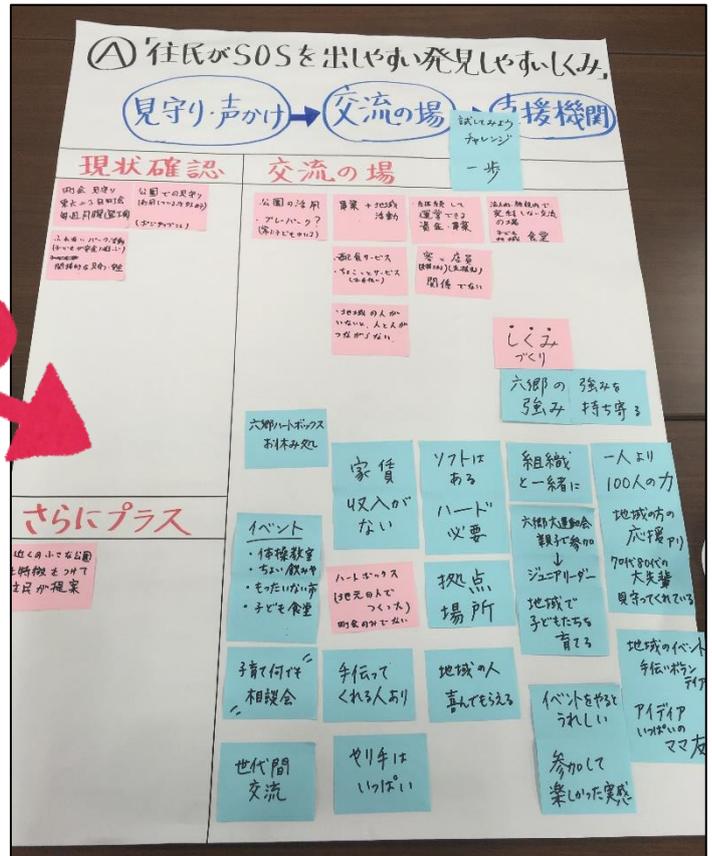
今回は、前回までの話し合いをより具体化するために、①と②の視点に重点を置き、試行錯誤するための話し合いを深めました。

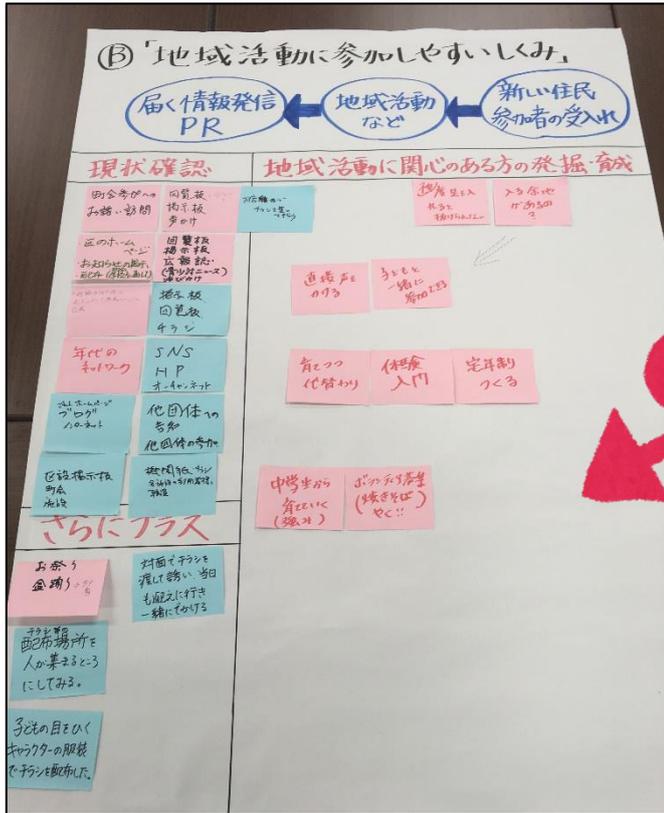
話し合いの様子



A 「住民が SOS を出しやすい
発見しやすいしくみ」

になるためには、見守り声掛けのまちの雰囲気をつくりつつ、顔の見える関係をいかに町の中につくりだせるか(交流の場)、そして信頼関係が生まれたことで発見できるSOSを関係する支援機関にどうつなぐかがこのしくみのポイントになります。



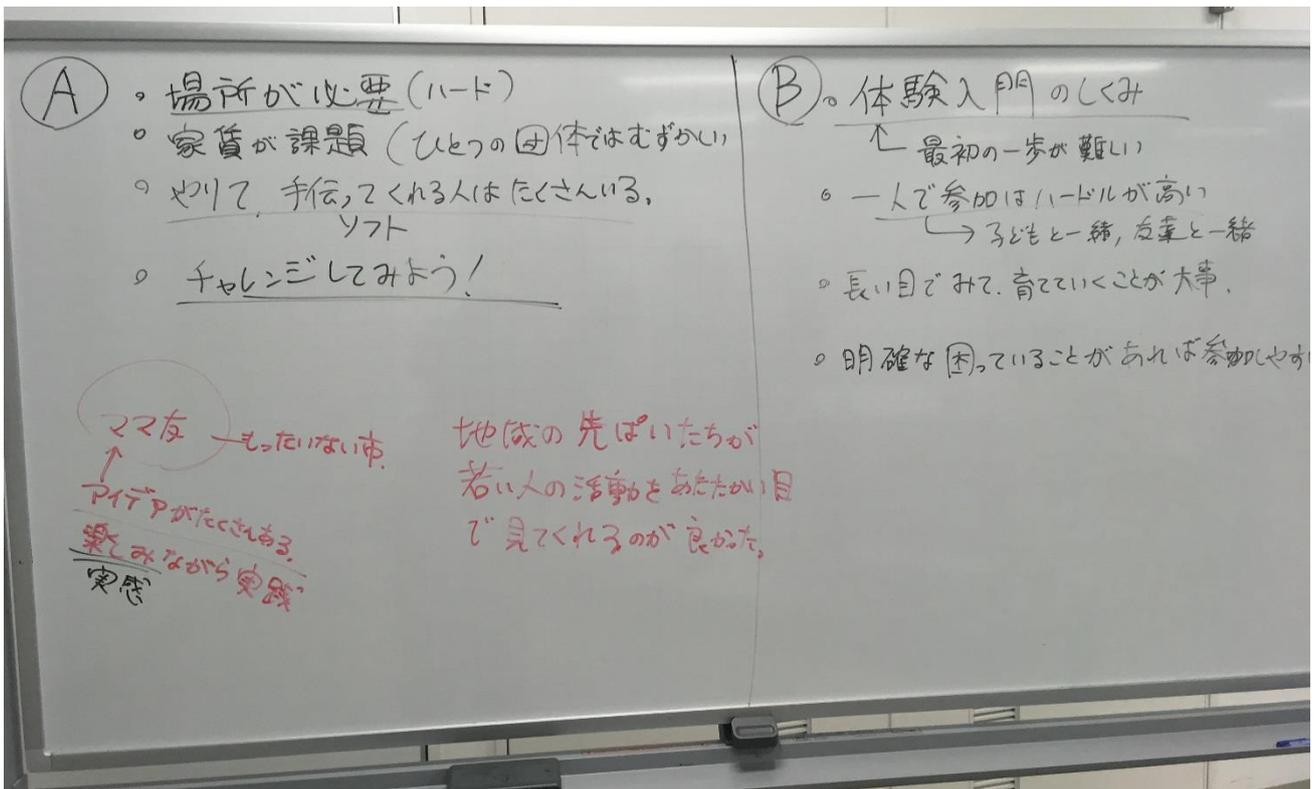


B 「地域活動に参加しやすいしくみ」

になるためには、
 地域活動などの取り組みが地域住民などにきちんと届く情報発信をするとともに、活動をしたと思う新しい住民、参加者をいかに受け入れていくかがポイントになります。

話し合いのまとめ

AとBの話し合いの内容には多くの接点があり、今後の取り組みを進めている多くのヒントが見つかりました。



次回に向けて	今回から試行錯誤編に突入しました。この話し合いをもとに、しくみ化するための整理を社協で行い、次回の話し合いでは、さらに前に進めるための議論をいたします。
---------------	--

次回 12月4日（火）は
勉強会：子どもの実態を知ろう
（テーマ）

「六郷の子どもたちの放課後を知る」
講師：六郷の児童館等の予定です。

18時30分から20時30分まで
会場は、六郷地域力推進センター4階会議室です。

お待ちしております。